

# 「夢をもって光る！！」 ～～心のきよい人は幸いです！！～

マタイ5：3～16

「私には夢がある。将来いつの日か、幼い黒人の少年少女たちが、幼い白人の少年少女たちと兄弟姉妹として手に手を取ることができるようになるという夢です。…」アメリカを変えたキング牧師の言葉です。彼は夢を追い求めながら歩いていました。そしてたとえ命を狙われたとしてもその夢に向かってゆるぐことなく進んでいきました。その夢はアメリカを変えようとするような大きな夢ではありませんでしたが結果としてアメリカを変えていきました。小さな子どもたちが差別がなく手と手を取り合って生きていくことを願うことはいろいろな反発を招きました。命までも危ういところを何度も通りながらもその夢に向かって進んでいきました。その当事者であったキング牧師は暗殺されてしまいますが、彼の思いは継承され、現アメリカ大統領であるオバマさんがその言葉を引用し演説を行うほどでした。また白衣の天使とよばれたナイチンゲールもクリミア戦争のなか、心に夢を抱き、周囲の反対を押し切って、看護婦として戦地に赴きました。そこでしていたことは敵味方関係なく、看護をしていました。彼女の姿を通して、争うことに意味を見出せなくなり、戦争は終結に向かっていきました。彼女の思いは明確な行動に現れていました。心で信じたとおりに行動することを通して多くの人々に良い影響を与えることができ、看護を学ぶ人々の礎となるほどでした。彼女はこのような言葉も残しています。「天使とは、美しい花をまき散らす者ではなく、苦悩する者のために戦う者のことだ。」そして彼女は「人生でもっとも輝かしい時は、いわゆる栄光の時でなく、落胆や絶望の中で人生への挑戦と将来への完遂の展望がわき上がるのを感じたときだ。」という言葉も残しています。この言葉からも戦地に赴くような辛い現実が待っている所へも自分が信じた通りに生きていることが分かります。私たちは目的を捜し求めて、夢を捜し求めていると元気になるのではありません。私たちには神さまからの夢があり、希望があり、信念が与えられて、召しが自分の中にあると分かったら元気になるのです。しかし私たちには神さまが用意していることが分かっていないから元気になるだけなのです。私たちはこの夢を忘れてしまうのです。天使から受胎告知を受けたマリアは人間的には様々な問題を感じました。しかし「私は主のはしめです。どうかこの身になりますように」と夢と召しを持つことができ、この後何があっても大丈夫と信じることができました。私たちはどんな状況であろうと、年齢がいくつであろうと信じることであれば変われます。神が私たちを非常によいと言って造られた時は夢や希望にあふれていました。しかし今の自分は現実の中、狭く小さく押し留めてしまっているのではないのでしょうか。私たちは神が非常に良いと言われたのであればその言葉を信じて進んでいきましょう。（マタイ5：3～16）ここで私たちは塩であり、光であると言われています。光や塩は何よっても変わらないものです。光が闇になることもありませんし、塩は固体、液体になったからといって塩でなくなることはありません。ここで言われていることは私たちは変わってはならないということです。光は山の上にある町を照らすように私たちは人前に出て、多くの人々を照らし、塩のように人々の中に変わらない姿を浸透させなさいと言われていました。しかし私たちはすぐに変わってしまいます。悪い人の所にいけば、悪い人のようになり、良い人の所にいけば、良い人になるのです。周りの状況に流されていないようで、流されていることはないのでしょうか。その時、聖書は心の清い人のようにいなさいと教えているのです。心の清い人になるためには「夢をもって光る、夢を握って光る」しかありません。私たちの周りに夢はたくさん用意されていますが、それを握っているのでしょうか。子どものころ、もっていた夢は純粋で利己的な夢ではなかったのではないかと思います。しかし段々と成長していく中で、夢が小さくなったり、清い夢ではなくなったりするのではないのでしょうか。ですから私たちは創造された、光輝いていた時の自分を取り戻していきましょう。しかし私たちは生きていく中で傷つけられ、裏切られたりすると夢が持てなくなります。その苦しみや痛みをイエスキリストは背負ってくれました。だからこそ、私たちは輝くことができます。イエスキリストは私たちに夢や希望を持たせるためにこられました。イエスキリストがこの地上に来られたのは、十字架の道を全うしたのはこのためなのです。今の私たちには持てないと思われるような夢であっても、本来の神によって造られた私たちにとっては当たり前前に大きな夢を持つ事ができます。しかしそのためには自分を悪くしようとしている自分に死ななければいけません。私たちは夢を持つ事できると信じています。エレミヤは主を信じて神にできないことは1つもないと告白した後、神を呼べば、応えると言われていました（エレミヤ32章、33章）どのようにすればそれが達成できるのか**①夢（召し）に忠実になるということです**。歴史上の人物を見ても自分の召しはこれだと信じてその思いに忠実であったので、歴史に名を残しています。心にある思いを成し遂げた人こそ心の貧しい人です。心の貧しい人は神様の恵みを追い求めている人のことを指しています。それ故に自分の罪に気づき、「悲しむ」人になります。十字架により罪が赦された人は裁く人にはならず、柔和な人になります。周りの人に優しくできる人は神の義を求めようになれます。そして心の清い人とは罪を犯さない人ではありません。神の召しを受けとり、周りの人のために仕えていきたいと思う気持ちが心の清い人です。そういう人が平和をつくるようになります。私たちが夢を抱かないと次の世代が受け取れないのです。キング牧師の思いは何十年かを経て実っていきました。次世代に継続できることは私たちにとって真の喜びになるかと思います。私たちが変わらない姿を表していければ、私たちの周りの人々は元気になっていきます。それは私たち自身からではなく、神さまからの力が現されるからです。そのために私たちも召しに従って明確な行動をしなければなりません。**②心で信じたとおりになる！！**これが大事です。誰であっても強いられてでもなく行なわないと意味がありません。誰かの受け売りでもありません。旧約聖書にはらい病にかかっていたナアマン将軍は7回川に浸ることを自分の行動で示す必要がありました。それゆえ癒しを受け取りました。私自身が私の神様に聞いて、それを心で信じて行動していきましょう。しかし「でも・だって」という言葉がでてきてやらなくなってしまいます。私たちはこの言葉がでなくなるようにしなければいけません。（マル11：23～24）ここでは疑わずに願うならと書いてありますが、自分ではできないと思うことに関してはむしろ確信している場合があります。これでは悪いことが現実起こってしまいます。では反対に「絶対にできる」と確信を持つことができれば、どれほど強く生きていけるのでしょうか。**③悪い時が悪くなくなる!!**私たちがたとえ悪くなった時でもそれは単なるプロセスにしか過ぎません。私たちは絶対に乗り越えられるからです。たとえ苦難があったとしても成功に向かって通過しているだけなのです。そして私たちは自分の問題で悩むことよりも周りにいる人のために苦難を通過する場合もあるでしょう。それは神さまが愛した人であり、私たちも同じようにイエスキリストから受けたのです。私たちは隣人を見る時、神を通してみるようにしましょう。そうすれば、私たちはあらゆる場合に感謝を持って捧げる祈りと願いとによって私たちの願い事を神に頂くことができるようになります。そうすれば、悪い時が悪くなくなっていきます。（ピリ2：2～5）志をもっていると、悪い時に悪い心になりません。志をもっていると一致ができるようになります。私たちは1人でやろうとは思ってはいけません。教会が与えられたのは互いに助け合うためです。そのためには一人ひとりが夢を持ち、それが集まり教会が夢を持って進んでいくことができます。今週私たちは神さまからの夢を再確認しながら、進んでいましょう。（要約者：平澤一浩）